

農 学 生 命 課 程

<紹介教員一覧>

	(氏 名)	(専門分野)
教授	岡田 益己 . . .	農業気象学、環境調節工学
教授	佐原 健 . . .	昆虫遺伝子の染色体マッピング
教授	武田 純一 . . .	農作業システム学、農業機械学
教授	築城 幹典 . . .	農業生態学
准教授	磯貝 雅道 . . .	植物病理、植物ウィルス学
准教授	折笠 貴寛 . . .	ポストハーベスト工学、農業環境工学
准教授	木下 幸雄 . . .	農業経済学、農業経営学、水資源論
准教授	小出 章二 . . .	農産物加工・保蔵学
准教授	小森 貞男 . . .	果樹園芸学
准教授	下野 裕之 . . .	作物学
准教授	庄野 浩資 . . .	農業情報工学、植物光計測工学
准教授	前田 武己 . . .	農業環境工学、生物資源循環工学
准教授	松嶋 卯月 . . .	生物環境工学
助教	加藤 一幾 . . .	蔬菜花卉園芸学、植物栄養学

氏名	おかだ　ますみ	所属	農学生命課程	
	岡田　益己			
専門分野	農業気象、環境調節工学			
講義テーマ	植物の根を冷やすと野菜が美味しくなる 地球温暖化が農作物の生長・収量に及ぼす影響			

氏名	さはら けん	所属	農学生命課程	
	佐原 健			
専門分野	昆虫遺伝子の染色体マッピング			
講義テーマ	染色体はゲノム情報が畳み込まれた遺伝子です。生命の歴史は刻まれている染色体(chromosome)の名前は、色素で染色できることに由来します。 チョウ目昆虫の染色体はヒトとは異なる構造をしています。そのため、1世紀以上ひとつひとつ区別することが困難でした。チョウ類の染色体研究の歴史とどうやって染色体を区別できるようになったのかについてお話しします。染色体上に遺伝子を視覚化するお話です。また、この研究を通して見えてきたチョウ類の進化的についても講義します。			

氏名	たけだ じゅんいち	所属	農学生命課程	
	武田 純一			
専門分野	農作業システム学、農業機械学			
講義テーマ	・最新農作業システムについて 我々が毎日食べている食料の生産は、農業機械を抜きにしては成り立たないのが現代の農業です。食料生産の歴史を紐解きながら、農業機械の立場から最新の農業生産技術を紹介します。 ・農作業事故の現状と防止対策について 農作業では年間約400名が亡くなっていますが、減少していないのが現状です。農作業事故の原因調査・分析結果及び安全対策の研究事例等について紹介します。			

氏名	ついき みきのり	所属	農学生命課程	
	築城 幹典			
専門分野	農業生態学			
講義テーマ	宇宙から見た農業環境 人工衛星で観測されたデータの特徴と、それらのデータを用いた農業環境の研究を紹介します。大きすぎて全容が判らなかった環境や農業の問題を解析するのに適した手法です。 放射性物質の農業への影響 放射能の基礎知識や放射性物質の種類、さらに原発事故による放射性物質農業への影響などについて講義する。			

氏名	いそがい まさみち	所属	農学生命課程	
	磯貝 雅道			
専門分野	植物病理、植物ウイルス学			
講義テーマ	「ウイルス」といえばインフルエンザウイルス、エイズウイルス、コンピュータウイルスなどが頭に浮かぶとおもいます。しかし、人間が毎日食べる植物もウイルスに感染して病気になります。ウイルスが発見されて100年が経ちますが、初めての発見は植物ウイルスでした。また、チューリップの花弁に斑（ふ）が入るウイルス病がありますが、17世紀ウイルス病とわからずオランダでは、この「斑入り」チューリップに熱狂し珍重していました。このような例を交えながら、人間生活に知らないうちに関わりをもつ植物ウイルスの不思議について、岩手大学の成果を含め解説していきます。			

氏名	おりかさ たかひろ	所属	農学生命課程	
	折笠 貴寛			
専門分野	ポストハーベスト工学、農業環境工学			
講義テーマ	1. 6次産業化に向けた農産物の乾燥技術 農産物の乾燥技術のメリットについてお話しします。これらの技術は地域活性化の起爆剤としてだけでなく、災害時におけるビタミンの供給源としても有用となるのです。 2. バイオエタノールと環境問題 バイオエタノールって何でしょう？ガソリン代替燃料として注目されているバイオエタノールと環境問題の関わりについてお話しします。			

氏名	きのした ゆきお	所属	農学生命課程	
	木下 幸雄			
専門分野	農業経済学、農業経営学、水資源論			
講義テーマ	・日本とアジアの農業問題 ・強い農業経営を作るには ・農業から見た水資源問題			

氏名	こいで しょうじ	所属	農学生命課程	
	小出 章二			
専門分野	農産物加工・保蔵学			
講義テーマ	講義タイトル：「食と農をつなぐ智恵」 収穫後の果実・野菜・穀物の魅力や活力を伝えます。 【要約】：Farm to Tableにおける収穫後農産物の「鮮度、衛生、品質」を中心に、農産物加工の必要性や、岩手大学農学部での研究・教育の楽しさも交え平易に講義します。 【参考】：生物・化学の知識がなくても大丈夫です。			

氏名	こもり さだお	所属	農学生命課程	
	小森 貞男			
専門分野	果樹園芸学			
講義テーマ	・ 果樹の遺伝資源について 世界中の果樹について、その特徴とおいしさについてお話しします。 ・ 果樹のバイオテクノロジー 果樹でも遺伝子組み換えなどの技術が発達しています。最新の果樹研究について説明します。			

氏名	しもの ひろゆき	所属	農学生命課程	
	下野 裕之			
専門分野	作物学			
講義テーマ	「地球温暖化でも冷害はなくなる」 参考図書：「地球温暖化でも冷害はなくなる そのメカニズムと対策」 下野裕之 著 農山漁村文化協会（農文協） 【解説】地球温暖化が進んで平均気温が上昇しても、冷害は減らない。それどころか、イネの冷害危険期に襲ってくる低温の危険性は高まる恐れがある。これは何も日本だけの話ではない。世界的な気候変動と食料不足の視野から、最新科学に基づく冷害のメカニズムと克服法を詳述！ http://shop.ruralnet.or.jp/b_no=01_54011291/			

氏名	しょうの ひろし	所属	農学生命課程	
	庄野 浩資			
専門分野	農業情報工学、植物光計測工学			
講義テーマ	植物の萎れの自動検出法 植物の体の約90%は水でできています。もし水が不足すると植物は生きていきません。しかし植物は水が不足しても、それを人に言葉で伝えることができません。ではどうすれば植物の水不足が検出できるのか、その方法をお話しします。 切り花の鮮度の判定法 人の眼を和ませてくれる切り花も徐々に鮮度を失って老化していきます。今手元にある切り花はあとどれくらい美しくいられるのでしょうか？岩手県を代表するリンドウを題材に、切り花の鮮度を判定する方法をお話しします。			

氏名	まえだ たけき	所属	農学生命課程 生物産業コース	
	前田 武己			
専門分野	農業環境工学、生物資源循環工学			
講義テーマ	【キーワード】 生物系未利用資源（廃棄物）、家畜排せつ物管理、堆肥化、バイオマス 1. 農畜産業から大量に排出される家畜排せつ物や作物残渣などの廃棄物について 2. バイオマスの各種利用技術について 3. 生物系未利用資源の主要な循環利用である堆肥化についての科学的説明			

氏名	まつしま うづき	所属	農学生命課程	
	松嶋 卯月			
専門分野	生物環境工学			
講義テーマ	植物の非破壊イメージング 植物内部のつくりがどうなっているのか、ナイフで切ったりせずに中をのぞいてみませんか？そんな願いを中性子やX線でのイメージングによって実現することができます。撮影した植物の写真を交えて、観察の手法についてお話しします。 植物中の水移動イメージング 植物が生きていくうえで欠かせない水ですが、どのように流れているのか見たことがありますか？植物の中の水の流れを、目で見えるようにする測定手法についてお話しします。			

氏名	かとう かずひさ	所属	農学生命課程	
	加藤 一幾			
専門分野	蔬菜花卉園芸学、植物栄養学			
講義テーマ	・人間にも環境にもやさしい野菜の栽培 野菜は栽培方法によって、内容成分が大きく変わります。人間の健康にとって有益な野菜、人間の嗜好に合う野菜も栽培方法でコントロールすることが可能です。また、野菜の生育に必要な栄養分を化学肥料ではなく有機物を用いることで、環境にも、そこに住む生物にもやさしい栽培を行うことができます。実例をあげて野菜の栽培について紹介します。			